

科目名	ProTools 1						年度	2024	
英語科目名	ProTools Training 1						学期	前期	
学科・学年	音響芸術科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	吉田 光宏		教員の実務経験		有	実務経験の職種		エンジニア・作曲家	
【科目の目的】 ProToolsの設計・製造・販売元Avid社認定のワールドワイドな資格である、Avid社公認プロツールズオペレーター 101の取得を目標とする。資格試験の実施には環境、講師ともに最新の技術を導入している必要があり、毎年Avidに 認定される必要がある。本校ではAvidに認定された講師による授業が行われるため学内にて受験が可能である。									
【科目の概要】 Avidの提供するAvid101テキストをもとに授業を行い、ProToolsの基本的な機能及びデジタルオーディオの概念を習得する。Avid101テキストのスキルを習得後、Avid101認定試験を受験し合格する事を目指す。									
【到達目標】 A: デジタルオーディオの基本を理解する B: ProToolsの基本的な操作を習得する C: 様々な現場でのProToolsの使用を理解する D: MIDIを使用し作業が出来る									
【授業の注意点】 必ずメモを取りながら受講する事。また理解できないことが生じた場合は積極的に質問する事。授業中に私語や居眠りはしない事。授業中に発言を求められた場合は大きくハッキリと答える事（それを習慣付けることによって就職活動にも役立ちます）。パソコンが得意になれるように積極的に使用し、できれば購入する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	パソコンを購入しプロツールズをインストールし使用している。	パソコンを購入し様々な設定ができる。	パソコンの基本的なオペレーティングができる。	パソコンが少しわかるようになった。	パソコンが苦手。				
到達目標 B	デジタルオーディオをよく理解し全ての設定を理解している。	サンプリング周波数とビットデプスが用途に合わせて設定できる。	サンプリング周波数はわかるがビットデプスがよく分からない。	デジタルオーディオは分かるが設定に迷う。	デジタルオーディオが分からないので設定ができない。				
到達目標 C	ProToolsでセッションとトラックを作成し録音を始めることができる。	ProToolsのトラックの種類をよく理解している。	ProToolsのセッションは作れトラックも作れる。	ProToolsのセッションは作れるがトラックが作れない。	Pro Toolsのセッションが作れずセッションを開くこともできない。				
到達目標 D	オーディオとMIDIのレコーディングと編集ができる。	オーディオとMIDIのレコーディングが始められる。	オーディオの録音はできるがMIDIがよく分からない。	オーディオの録音と編集ができる。	オーディオの録音ができない。				
到達目標 E									
【教科書】 0									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 0									

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ProTools 1			年度	2024	
英語表記		ProTools Training 1			学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	ProToolsとは何か？授業の概要	ProToolsを理解する。授業のテーマを理解する	1	ProToolsの説明	なぜProToolsが世界で使われているかを理解する。	3	
			2	Avid101テキスト	Avidの教育プログラム101を理解する。		
			3	Avid101試験	学期末に受験するAvid101試験について理解する。		
2	ProToolsインターフェースの構造について	ProToolsがどのような構造で作成されているか理解する	1	セッションの作成	セッションという名のドキュメントを覚える。	3	
			2	ウィンドウの構成	重要なウィンドウを理解する。		
			3	ミックスウィンドウ	ミックスウィンドウのセクションを理解する。		
3	ProToolsのトラック	様々なProToolsのトラックについて理解する	1	トラックの作り方	トラックを作る方法を覚える。	3	
			2	トラックの種類	トラックの種類について理解する。		
			3	トラックの機能	それぞれのトラックの機能について理解する。		
4	編集ウィンドウ	編集ウィンドウを理解する	1	概要	編集ウィンドウのインターフェースを理解する。	3	
			2	編集作業とは	オーディオを編集するとはどういうことか理解する。		
			3	編集モード	4つの編集モードを理解する。		
5	編集ツール	編集ツールを理解する	1	編集ツール	それぞれの編集ツールの機能を覚える。	3	
			2	裏機能	編集ツールの裏機能を覚える。		
			3	編集モードとツール	編集モードと編集ツールの組み合わせを理解する。		
6	インサートセクション	インサートセクションとは何か？	1	プラグイン	プラグインが入っていることの理解。	3	
			2	エフェクト	エフェクト系のプラグインの種類を理解する。		
			3	インストゥルメント	インストゥルメント系のプラグインの使い方。		
7	レイテンシー	デジタル機器におけるレイテンシーを知る	1	レイテンシーとは	レイテンシーの起こる原因やセクションについて。	3	
			2	H/Wバッファ	H/Wバッファの設定に対するレイテンシー。		
			3	プレイバックエンジン	プレイバックエンジンの設定ができるようになる。		
8	MIDI	MIDIを理解する	1	MIDIとは何か	MIDIとはどのようなデータかを理解する。	3	
			2	インストゥルメント	MIDIとインストゥルメントトラックを使用する。		
			3	MIDIの入力	ProToolsでMIDIを入力する。		
9	MIDIの編集	MIDIを編集できるウィンドウを知る	1	MIDIエディター	MIDIエディターウィンドウでの編集。	3	
			2	楽譜エディター	楽譜エディターウィンドウを使用する。		
			3	イベントリスト	MIDIイベントリストで確認する。		
10	オートメーション	オートメーションを使用する	1	ラインを書く	オートメーションラインを書いてみる。	3	
			2	プレイバック	プレイバックしながら書き込む。		
			3	モード	オートメーションモードを理解する。		
11	メモリーロケーション	メモリーロケーションを理解する	1	タイムライン	タイムベースルーラを理解する。	3	
			2	マーカーの入力	適切にマーカーを入力する。		
			3	メモリーロケーション	様々なメモリーロケーション機能の理解。		
12	ナッジ機能	ナッジ機能を使用する	1	ナッジできるもの	どのようなセクションがナッジできるかを理解する。	3	
			2	ナッジ値の設定	ナッジ値の設定とそのショートカットを学ぶ		
			3	編集モードとナッジ	編集モードとナッジ機能の関係を理解する。		
13	ミキシング	ミキシング作業をできる様になる	1	エフェクト処理	プラグインを理解し適切にエフェクト処理をする。	3	
			2	サウンド処理	パンやレベルを調整しサウンドを構築する。		
			3	2Mixの構築	2Mixを作るためのバウンス作業の種類を理解する。		
14	保存	作業の保存方法を使い分ける	1	上書き保存	上書き保存の用途を理解し使用する。	3	
			2	別名で保存	別名で保存の用途を理解し使用する。		
			3	コピーを保存	コピーを保存の用途を理解し使用する。		
15	101試験	101試験の方法を理解し受験に備える	1	アカウントの作成	Avidのアカウントの作り方と注意事項。	3	
			2	試験への入り方	101試験の入り方を理解する。		
			3	受験方法	受験時の解答方法や採点方法を理解する。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等